

【ワークシート: DP・CPの対応関係】

学習教育目標【A】について

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【A】

政治学・国際関係論を中心とする基礎的・応用的専門知識(専門性)



政治・国際関係 学士教育プログラム

カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【A】を達成するための取組  
 <授業の構成(教育内容・方法)、科目間の順次性・関連性、科目名>

政治学および国際関係論は応用社会科学であるため、研究の対象は広くまた境界領域が曖昧なものが多い。それゆえに政治研究のディシプリンを一定の幅広さをもってなおかつかなりの深みをもって修得する必要がある。

まず初年次には歴史系科目を厚めに配当し、政治分析の基本となる事実をきちんと理解できるよう心がける。それに引き続き二年次からは理論系の科目(過程論や国際政治学等)を学ぶことで、観察すべき事実を一定のフレームワークに基づいて整理していく発想を学ぶ。

2年修了までには自分の研究したい方向性に関する見極めがつくため、3年次からは専門の特化した演習に参加し、より個別的な研究領域の理解を深め、自ら課題を発見して研究を進める機会を多く持つ。同時に不足しているであろう専門知識をさらに深めていく。

専攻教員が提供する共通教育科目は関連する基礎的科目として位置づけられる。具体的には、教養領域社会系の「現代政治の課題」「日本の政治」「戦争と平和の諸問題」、総合科目の「現代アジア論」「女性と社会」、琉大特色科目の「平和論」「現代の国際関係」「沖縄の政治と社会」などがこれに相当する。

(3) 学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分 (選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次 (選択式)	学期 (選択式)	授業形態 (選択式)
選択必修(共通)		教養科目(社会系科目)	4	1~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策211	現代日本の政治	4	1~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策213	日本政治外交史	4	1~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策221	政策科学概論	4	1~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際211	国際政治学	4	1~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際221	国際関係史	4	1~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策212	政治過程論	4	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策222	行政学	4	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策223	政治社会学	4	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策224	日本政治思想史	4	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策225	西洋政治思想史	4	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際222	国際政治経済論	4	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際223	国際社会学	4	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際224	比較政治学	4	2~4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	政策(国際)13	政策科学(国際関係論)演習1	4	3年次	通年	演習
必修(専門)	政策(国際)14	政策科学(国際関係論)演習2	4	4年次	通年	演習
必修(専門)	政国141	卒業研究	4	4年次	通年	実習
			合計単位数	68		

初年次

高年次

【ワークシート: DP・CPの対応関係】

政治・国際関係 学士教育プログラム

学習教育目標【B】について

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【B】

政治学・国際関係論を含む社会科学の分野に関する資料収集・文献調査能力  
(情報収集能力)



(2) 学習教育目標【B】を達成するための取組  
＜授業の構成(教育内容・方法)、授業間の関連性、科目名＞

上述の基本的な学識の修得を前提として、自らの課題を発見し論理的に展開するには情報の適切な取り扱いに関するスキルが必要であり、それは①基礎的汎用的能力②個別トピック③応用的特殊的能力から構成される。

1-2年次においては、まず社会科学情報の基礎的な取り扱いを学び(政策情報基礎演習)、続いて政治学一般に特化した基礎的な演習等(日本語による専門基礎演習1、英語による専門基礎英語演習)、さらにプレゼミとしてやや分野別に特化した専門基礎演習2を提供し、汎用的な情報能力を養成する。  
他方、目標Aをさらに掘り下げた個別トピックに関する講義群を通じ、学術的な情報の掘り下げ方法を体得していく。

最後に、3-4年次の二年間にわたる専門演習と卒業論文の執筆を通じて、高度な専門知識の取り扱いを体得していく。

カリキュラム・ポリシー(CP)

(3) 学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分 (選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次 (選択式)	学期 (選択式)	授業形態 (選択式)
必修(専門)	政国111	政策情報基礎演習	2	1年次	前期	演習
必修(専門)	政国112	専門基礎英語演習	2	1~2年次	前期/後期	演習
必修(専門)	政国121	専門基礎演習1	2	1~2年次	前期/後期	演習
必修(専門)	政国122	専門基礎演習2	2	2年次	後期	演習
選択必修(専門)	政策311	西洋政治史	2	1~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策321	現代政治理論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策332	沖縄政治社会思想史	2	3~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策333	ジェンダーと政治	2	3~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策336	議会政治論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際611	東アジア国際関係史	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際612	ヨーロッパ国際関係史	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際721	東アジア地域研究1	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際742	東アジア地域研究2	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際743	東アジア地域研究3	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際722	東南アジア地域研究	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際723	太平洋地域研究	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際724	南北アメリカ地域研究	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際725	ロシア・東欧地域研究	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際726	西ヨーロッパ地域研究	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際801	国際関係理論	4	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際802	外交政策論	4	2~4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	政策(国際)13	政策科学(国際関係論)演習1	4	3年次	通年	演習
必修(専門)	政策(国際)14	政策科学(国際関係論)演習2	4	4年次	通年	演習
必修(専門)	政国141	卒業研究	4	4年次	通年	実習

合計単位数 58

初年次

高年次

【ワークシート: DP・CPの対応関係】

政治・国際関係 学士教育プログラム

学習教育目標【C】について

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【C】

社会の諸現象に対して問いを立てて、知識・調査と論理的思考に基づいて解決を見出す能力(問題解決能力)



カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【C】を達成するための取組  
 <授業の構成(教育内容・方法)、授業間の関連性、科目名>

問題解決能力は、上述の目標B同様に、汎用的基礎的能力(基礎演習群)、政策系専門科目群(講義)、個別的応用的能力(専門演習群)によって養成される。

演習は常に自ら課題を発見し、それを説得力ある形で発展させる能力を学ぶ場である。基礎演習ではさまざまな素材を用いて、「着眼の仕方」や「発展させるパターン」について学ぶ。高年次になると、問題関心の近いゼミ内でそれをさらに磨いていく。

一方、国内政治にせよ国際関係にせよ、具体的な課題を解決するための着眼がある。いわゆる政策科学志向や紛争解決志向である。

右に掲げた科目群の履修は、もちろん専門能力の涵養が一義的な目標であるが、同時に課題解決志向の具体例を初局面を通じて理解していく修練の場ともなっている。

(3) 学習教育目標【C】を達成するために履修する科目一覧

区分 (選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次 (選択式)	学期 (選択式)	授業形態 (選択式)
必修(専門)	政国121	専門基礎演習1	2	1~2年次	前期/後期	演習
必修(専門)	政国122	専門基礎演習2	2	2年次	後期	演習
選択必修(専門)	国際731	平和研究1	2	1~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策322	都市政治学	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策323	地方自治論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策324	沖縄の政治と行政	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策325	公共政策学総論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策326	福祉政策論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策327	環境政策論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策329	地域経営論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策334	政策評価研究	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策337	行政統制論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策338	利益集団論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際613	国際紛争論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際614	国際組織論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際615	安全保障論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際616	国際協力論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際617	地球環境論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際732	平和研究2	2	2~4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	政策(国際)13	政策科学(国際関係論)演習1	4	3年次	通年	演習
必修(専門)	政策(国際)14	政策科学(国際関係論)演習2	4	4年次	通年	演習
必修(専門)	政国141	卒業研究	4	4年次	通年	実習

合計単位数 50

初年次

高年次

【ワークシート: DP・CPの対応関係】

政治・国際関係 学士教育プログラム

学習教育目標【D】について

ディプロマ・ポリシー(DP)

(1) 学習教育目標【D】

現代社会の諸問題に対処するため必要とされるプレゼンテーション・討論・文章作成の能力(コミュニケーション能力)



カリキュラム・ポリシー(CP)

(2) 学習教育目標【D】を達成するための取組  
 <授業の構成(教育内容・方法)、授業間の関連性、科目名>

当プログラムにおけるコミュニケーション能力は、次の三点から構成される。

- 1) 自己の主張を掘り下げた上で他者に分かりやすく伝達することができる。
- 2) そうした主張の根拠となる、資・史料の正確な取り扱い、外国語文献の理解、数値データの取り扱いについて正しく把握している。
- 3) また質的なデータ(歴史全体の解釈や社会状況の理解など)についても恣意的でなく正確に取り扱うことができる。

こうした目的のためには右記に掲げるような、技術的な科目(特に講読や計量政治学)に加えて、質的なデータをふんだんに利用しながら動態分析を行う科目(政治文化論、市民社会論、社会文化論等)を通じて、そうした観点を身につけていくことが必要である。

このような観点から、必修演習以外の科目は、配当されている学年の中では高年次に履修することを推奨している(基盤となる政治国際関係理解が深まらないと、当該目的が達成されないため)。

(3) 学習教育目標【D】を達成するために履修する科目一覧

区分 (選択式)	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次 (選択式)	学期 (選択式)	授業形態 (選択式)
必修(専門)	政国121	専門基礎演習1	2	1~2年次	前期/後期	演習
選択必修(共通)		基幹科目(第1外国語)	10	1~4年次	前期/後期	実習
選択必修(共通)		基幹科目(第2外国語)	8	1~4年次	前期/後期	実習
必修(専門)	政国122	専門基礎演習2	2	2年次	後期	演習
選択必修(専門)	政国411-6	原典・外書講読1-6	2	2~4年次	前期/後期	演習
選択必修(専門)	政策328	政治文化論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策331	計量政治学	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	政策335	市民社会論	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際803	アメリカン・スタディーズ	4	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際831	比較社会文化論1	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際832	比較社会文化論2	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際833	グローバルポリティクス	2	2~4年次	前期/後期	講義
選択必修(専門)	国際834	歴史政策学	2	2~4年次	前期/後期	講義
必修(専門)	政策(国際)13	政策科学(国際関係論)演習1	4	3年次	通年	演習
必修(専門)	政策(国際)14	政策科学(国際関係論)演習2	4	4年次	通年	演習
必修(専門)	政国141	卒業研究	4	4年次	通年	実習
合計単位数 54						

初年次

高年次